

一月十八日午前十時半組合員代表として横大路茂懇談會代表として濱橋文作外九名は製鐵所本事務所を訪問し渡邊所長、磯谷總務部長、安木工場課長と會見し組合代表横大路茂より従來の掛金率を念頭から去り法に基いた負擔率を決定して貰ひたい、吾々は絶對反對するものではないが目下相當の利益を確保されてゐるのであるから是非要望を容れて貰ひたいと懇請したるに對し渡邊所長より諸狀勢に鑑み妥當なる負擔率を見出し大藏省ともよく打合せて立案すると回答ありたるが更に組合代表は一月十四日の對策實行委員會にて決議したる三割増本給繰入及臨時特別手當支給方を要求したる虞國內一般的環境は夫れ迄に逼迫してゐないと即座に拒絶されたる爲二三の押問答をなし最後に臨時懇談會召集を懇請したるも容れられず結局得る所なく零時二十分散會したのである。

同日 午後七時第三回對策實行委員會開催

横大路委員長以下十六名出席し本日の會見交渉状況を中心として今後の對策を協議したる結果各支部工場別に大會を開き未組織工場に對しては委員より督勵し反對熱を高める事を決議した。

一月二十日 組合當例中央委員會開催

横大路副組長外十九名出席各種委員會状況と製鐵當局との會見願求を報告し各職場に於て大會を逐次開催せしめる事を申合せした。

○各工場別大會状況 (主なるもの)

- 一月二十一日 第一製鋼支部全体會議 出席者二〇〇名
- 同 二十二日 東田製鐵支部全体會議 同 二五〇名
- 同 二十三日 電氣鐵支部全体會議 同 四五名